

初開催

第1回 日経フードテック・カンファレンス

**Toward 2030ー
「食」のイノベーションが変える！
世界と日本の未来**

企画素案

2019年8月現在

日本経済新聞社、日経BP

食は一生の大事

美味しく、楽しく、
幸せになるための技術を！

S D G s の達成
地球の未来はフードテックが担う

Toward 2030ー 「食」のイノベーションが変える！ 世界と日本の未来

【フードテックとは】

フードテックは世界で700兆円とも言われる食市場において、生命科学の領域や農業など生産から、流通、中食・外食、次世代食品開発、調理など食に関わる領域全般に先端技術を活用、食品ロスを減らし、環境負荷を軽減しながら、健康維持や食品産業全体の生産性向上を目指すものです。食の再現性、多様性を担保しつつ、私たちが美味しく、楽しく、幸せになるための技術の伝承を実現します。世界を見渡すと、食にまつわる課題解決のためにスタートアップが数多く誕生し、著名投資家も注目しているテーマです。

【食のイノベーションが世界と日本の未来を変える】

人口増加で懸念される食糧不足や飢餓への対応はSDGsで示された世界共通の課題です。健康で地球環境にもやさしいサステナブルな食への関心も高まっています。こうした中、食に関する技術や文化の蓄積が豊富な日本ならではの視点を加えた日本型のフードテックは既存産業の活性化、新ビジネス創出、食ビジネスの国際競争力向上など、経済成長の原動力になり得る可能性を秘めています。日経フードテック・カンファレンスではSDGsやパリ協定の目標を達成すべく節目となる2030年を見据え、「食のイノベーション」に関する議論を深めます。

【貴社のブランディングを日経グループがサポート】

会議には貴社のフードテックに関する取り組みを紹介するセッションを設けます。事後には日経や日経ビジネスの紙面で特集を実施します。また、持続可能な社会の実現に向けて、日本経済新聞社が中心になって関連イベントを集中的に行うSDGs Weekの期間中に本カンファレンスを実施することで、告知面や動員面で相乗効果を高めます。企業のマネジメント層や経営企画担当などに向けた貴社のブランディングをサポートします。

つきましては、企画趣旨にご賛同いただきご協賛賜りますようお願い申し上げます。

全てのステークホルダーへのメッセージ

【メッセージ1】

サプライサイドのフードテック

食はSDGsの主要テーマ

～食料不足対策やサステナブルな食を実現

【メッセージ2】

デマンドサイドのフードテック

食産業はデータ中心型に

～消費者データを起点としたサービスが主流に

【メッセージ3】

食文化の過去・現在・未来をつなぐフードテック

食の再現性、多様性などを伝承

～美味しく、楽しく、幸せになるための技術

【メッセージ1】 サプライサイドのフードテック 食はSDGsの主要テーマ～食料不足対策やサステナブルな食を実現

The screenshot shows the Japanese Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (Maff) website page titled "Sustainable Development Goals" and "食品産業" (Food Industry). The page features a grid of 17 SDG icons at the top, followed by navigation links and a search bar. Below the search bar, there are several menu items: "会見・報道・広報", "政策情報", "統計情報", "申請・お問い合わせ", and "農林水産省について". A breadcrumb trail reads: "ホーム > 食料産業 > SDGs×食品産業 > 17の目標と食品産業とのつながり: 目標1に対する取組". The main content area has a large header "SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 食品産業" with a sub-header "～持続可能な社会と食品産業発展のために私たちにできること～". Below this is a table with 5 columns: "最新情報", "17の目標と食品産業", "SDGsとは?", "SDGsの特徴", and "SDGsが誕生するまで". The bottom of the page has a footer with the text "17の目標と食品産業とのつながり".

SDGsの多くが「食」に関連しています！

国内でもSDGsに関する食品産業の取り組みを農林水産省が後押ししています！

○SDGsは社会貢献活動（CSR）ではなく、世界的な課題を収益性ある事業として解決するための指標です。

○世界的な人口増加に伴い、「**プロテイン（タンパク質）の確保**」は深刻化しています。その解決のため、代替肉の開発に代表されるように多くのスタートアップ企業が生まれています。世界のベンチャーキャピタルや要人もその動きを注目しています。

○食材となる生物の多様性保護が重要な課題となっています。

○**健康で地球環境にも優しいサステナブルな食**への関心も高まっています。

○国内でも、SDGsに関する食品産業の取り組みを農林水産省が後押ししています。

【メッセージ2】 デマンドサイドのフードテック 食産業はデータ中心型に～消費者データを起点としたサービス主流に

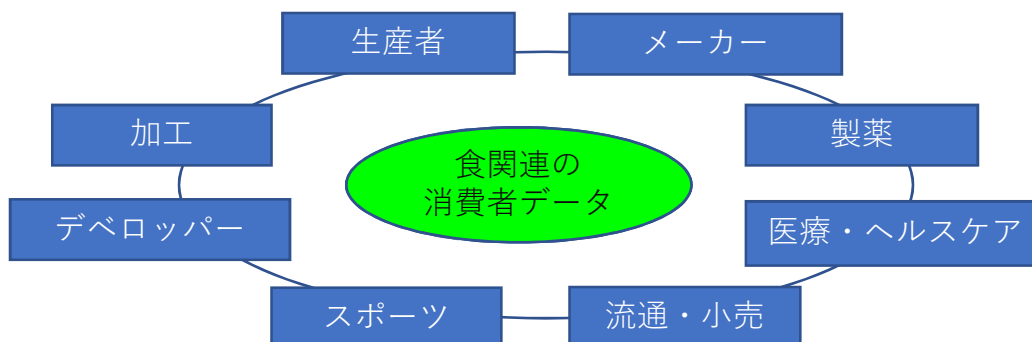
【現在＝サプライチェーン型】

- ・ 小売以外は「消費者が分からない」
- ・ 各プレイヤーは隣接するプレイヤーとの連携のみ



【将来＝データ・オリエンテッド型】

- ・ データを手に入れることで「消費者を知る」ことができる
- ・ 「データ起点のサービス」の提供に向け、プレイヤー同士が柔軟に連携
- ・ 各プレイヤーの課題や方向性の共有の「場」が求められる



データ中心型で食の課題を解決

- ・ 既存産業の活性化
- ・ 新ビジネスの創出
- ・ 国際競争力の向上
- ・ 食料不足対策
- ・ サステナブルな食を実現
- ・ 食の再現性、多様性を伝承など

データ起点の新しいサービス例

- ・ 超個別最適化
- ・ ○○○○○○
- ・ ○○○○○○ など

【メッセージ3】食文化の過去・現在・未来をつなぐフードテック
食の再現性、多様性を伝承～美味しく、楽しく、幸せになるための技術

先端技術×多様な食文化の掛け合わせで生まれる
新しい食文化のカタチ

再 現 性

- 新しい食材を発見・開発する技術
- 素材の持つ味を再現する技術
- 失われゆく料理法を分析し解析し再現する技術
- 様々な料理を時空を超えて作るための技術
- 人工知能やロボットの活用
- MaaS：狭い乗り物の中でも再現できる技術

継 承

- 「レシピ」の意味を認識する
- 過去から未来まで「レシピ」を編纂する重要性
- 時間軸だけでなく、横軸（地域・距離の軸）の課題を解決、どこでも同じ味が楽しめる。
- 失われゆく素材（動植物）の保全・再現
- 設備の開発
- 極地や深海、宇宙にも継承できるフードテック

多 様 性

- 地域ごと、国ごとの食文化があることの重要性
- 特に日本における地域ごとの多様な食文化
- 個人ごとに異なる食の好みへの対応
- 生物多様性の重要性の再発見

民 主 化

- 職人文化を尊重しつつも、誰でも習得できる調理法の確立
- 食の技術の普遍化、フードテック時代制度を考える場
- コストが安く誰でも美味しいものをしかも好みにあったものを食べられる仕組みづくり

開催概要

- 名称 : 第1回日経フードテック・カンファレンス
- テーマ : Toward2030ー
「食」のイノベーションが変える！ 世界と日本の未来
- 会期 : 2019年12月6日（金） 10:00～18:30
- 会場 : 東京ビッグサイト 会議棟
7階「国際会議場」及び1階「レセプションホール」
- 主催 : 日本経済新聞社、日経BP
- 後援 : 関係省庁を予定
- 協賛 : 複数社を予定
- 参加対象 : 食品、製薬、家電、機械、厨房機器・キッチン、
流通・小売、IT、デベロッパー、金融、コンサル、
行政などのマネジメント層、経営企画担当、
新規事業担当ほか
- 参加者数 : 800名
- 参加料 : 無料
- 同時開催 : SDGs Week展示会
(エコプロ、社会インフラテック、気候変動・災害対Biz)

※ SDGs Weekとは

持続可能な社会の実現を目指して、環境総合展「エコプロ」やSDGsをテーマにした大型シンポジウムなど関連イベントを同時開催します。期間中、一般からビジネスまで約16万人の来場を見込んでいます。

日経フードテック・カンファレンスの全体構成

「カンファレンス」と「ショーケース／ネットワーキング・レセプション」で全体を構成します。

【カンファレンス】

東京ビッグサイト 会議棟7階国際会議場

オピニオンリーダーによる講演とディスカッション
定員800名の大会議の場

【ショーケース】

東京ビッグサイト 会議棟1階レセプションホール

試食やアンケート調査ができる展示スペースです。
同時開催のSDGs Weekの来場者なども訪れます。

【ネットワーキング・レセプション】

東京ビッグサイト 会議棟1階レセプションホール

行政、民間企業などのキーパーソンが参加します。
新たな人脈づくりの場をご提供します。

「フードテック」の主な領域

Foodtech

川上
領域

品種改良 ゲノム編集 遺伝子組み換え
培養

アグリテック

国際的
競争力

R&D
への
投資

新しい高たんぱく食材の開発

高機能食品 製薬

ヘルステック

食の
安全

気候変動と食の安定供給、生産施設

都市農業 Vertical farming 都市計画

食品
衛生法

川中
領域

リードタイムを限りなく0へ！

サプライチェーン

ICTが変える食の場
「味の電送」

建物・店舗・家屋とIoT
「スマートキッチン」

食事の場と
ビジネスモデル

レシピ 調理の自動化
ミールキット

レストランテック

食の再現

川下
領域

変わるライフスタイル
Maas 新しい時代の乗り物と食

伝承
地域と
食文化

「超個別最適化」
調理の楽しさ、バリエーション
誰もがフードテックの遣い手に！

レシピは
時空を超える

アレルギー・フリー

「カンファレンス」プログラム案

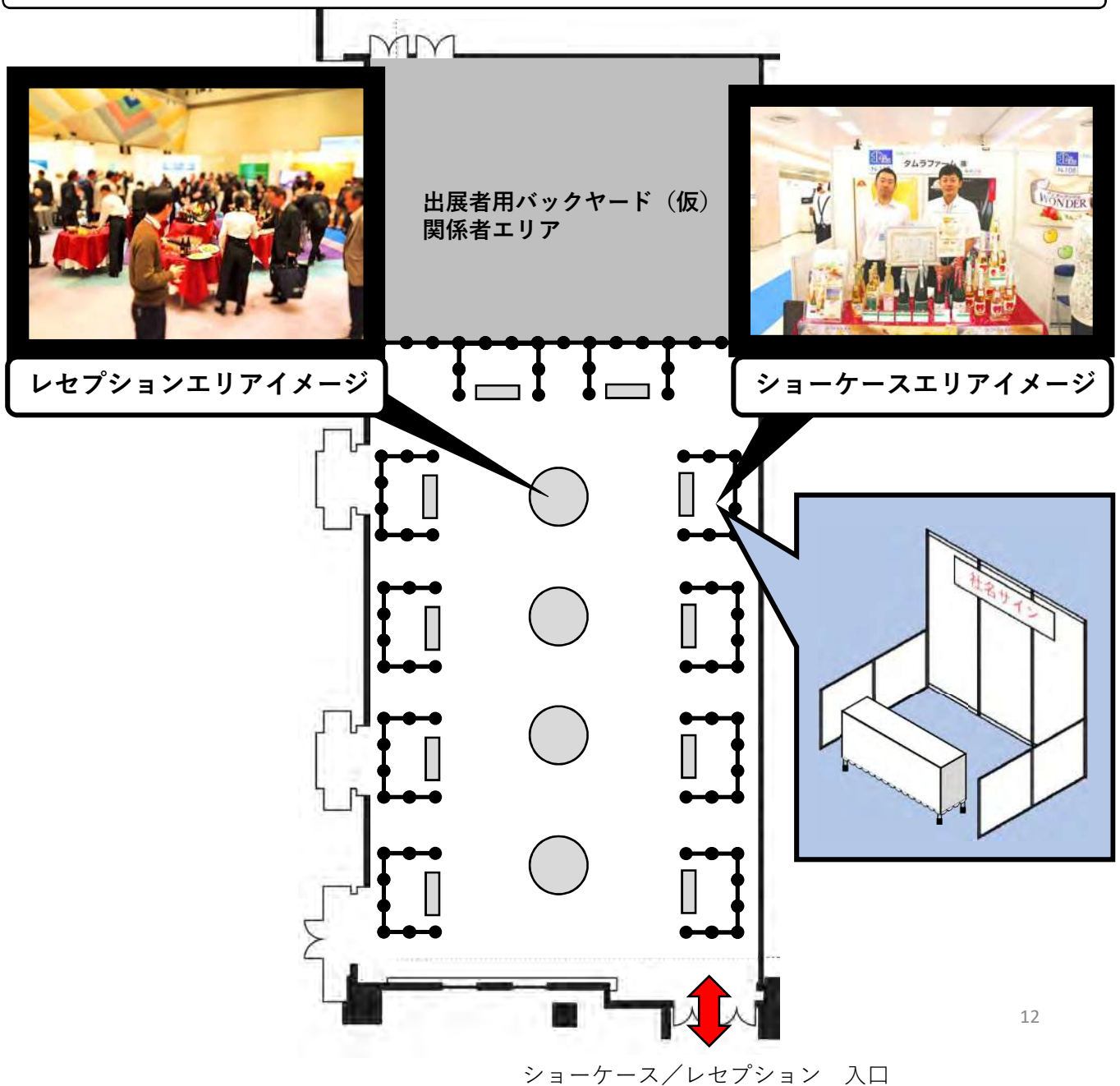
☆詳細は別紙をご覧ください。

- 10:00 – 10:10 開会あいさつ
- 10:10 – 10:40 イントロダクション
「2030年～フードテックの動向」
- 10:40 – 11:20 基調講演 1
「新しい産業の育成と日本経済の活性化」
- 11:20 – 12:00 基調講演 2 「食の R & D 最前線」
- 12:00 – 12:20 ケーススタディ・セッション 1
- 12:20 – 12:40 ケーススタディ・セッション 2
- 12:40 – 13:30 休憩
- 13:30 – 14:00 行政セッション
- 14:00 – 14:20 ケーススタディ・セッション 3
- 14:20 – 14:40 ケーススタディ・セッション 4
- 14:40 – 15:00 ケーススタディ・セッション 5
- 15:00 – 15:20 ケーススタディ・セッション 6
- 15:20 – 15:40 休憩
- 15:40 – 17:00 スタートアップによるパネルディスカッション
- 17:20 – 18:30 ネットワーキング・レセプション

「ショーケース／レセプション」プログラム案

当日のスケジュール（確認中）

- ・ 10:00-11:45 出展者搬入およびセッティング
- ・ 12:00 ショーケースエリアオープン
- ・ 17:20-18:30 ネットワーキング・レセプション
- ・ 18:30- 出展者搬出および撤去



企業などのマネジメント層や経営企画担当、新規事業担当に貴社の取り組みを訴求します。

1. 急成長するフードテック領域への第一歩として

急成長する「フードテック」の領域への第一歩を、会議に参加するオピニオンリーダーや受講者とともに踏み出しましょう。関係者との「共感」の場づくりをご提供します。

2. フードテックのリーディングカンパニーとして周知

日経グループのプログラムに参加頂くことで、貴社をフードテックという最先端の技術領域のリーディングカンパニーとして、広く周知します。

3. 貴社の取り組みを会議と日経の紙面特集でご紹介

会議プログラムには貴社のフードテックに関する取り組みなどを紹介するセッションを設けます。事後に日経紙面や日経ビジネスなどで特集を実施、貴社のブランディングに役立ちます。

4. リアル・イベントでリアル・ネットワークを築く

会議やレセプションへのご参加を通して、これからのビジネスに役立つネットワークを構築できます。

「日経フードテック・カンファレンス」ご協賛要項

※協賛者は複数社募集します。

1. 会議関係

1) 「ケーススタディセッション枠」のご提供 (20分)

本会議プログラム中のケーススタディセッション枠をご提供します。
貴社の考えるフードテック・ビジネスやこれからの社会像などについて
情報発信をお願いします。

2) 協賛社名の掲出 ※下記部数は予定

- ①日本経済新聞紙上と日経ビジネス、日経ESG誌上の開催告知広告
貴社名を本会議の協賛社として記載します。
- ②本会議の告知ツール
 - 本会議公式サイト
 - 日経の顧客データを使った電子メール告知：約400,000件
 - 日経電子版
 - 同時開催SDGs Week 展示会（エコプロ、社会インフラテック、
気候変動・災害対策Biz）展示会場案内会場マップ：200,000部
- ③会議場
 - 主要看板：会場内・会場外の主要看板に掲出

3) 本会議ショーケース会場内での貴社製品の出品

本会議ショーケース／レセプション会場内に展示の場を設けます。
貴社の製品やビジネスモデルなどの紹介にご活用下さい。
※ベーシックな展示台などのご用意します。
※展示に要する輸送費・設置費等は貴社でご負担下さい。

4) ご招待

本会議へのご招待（会議場内にご協賛社向けご招待シートを設けます）

2. 『日本経済新聞』 広告掲載

2020年1月に掲載予定の日経フードテック・カンファレンス特集内に、
貴社広告を掲載します。貴社のブランディングにご活用ください。

掲載サイズ：全5段

オプションでカラー原稿や全7段へのサイズアップも可能です。

企画タイトル：日経フードテック・カンファレンス特集（仮）

掲載時期： 2020年1月（予定）

掲載媒体： 日本経済新聞 朝刊全国版

※購読数 230万部

体裁： 6ページ見開き（予定）

※画像は誌面掲載イメージ

